

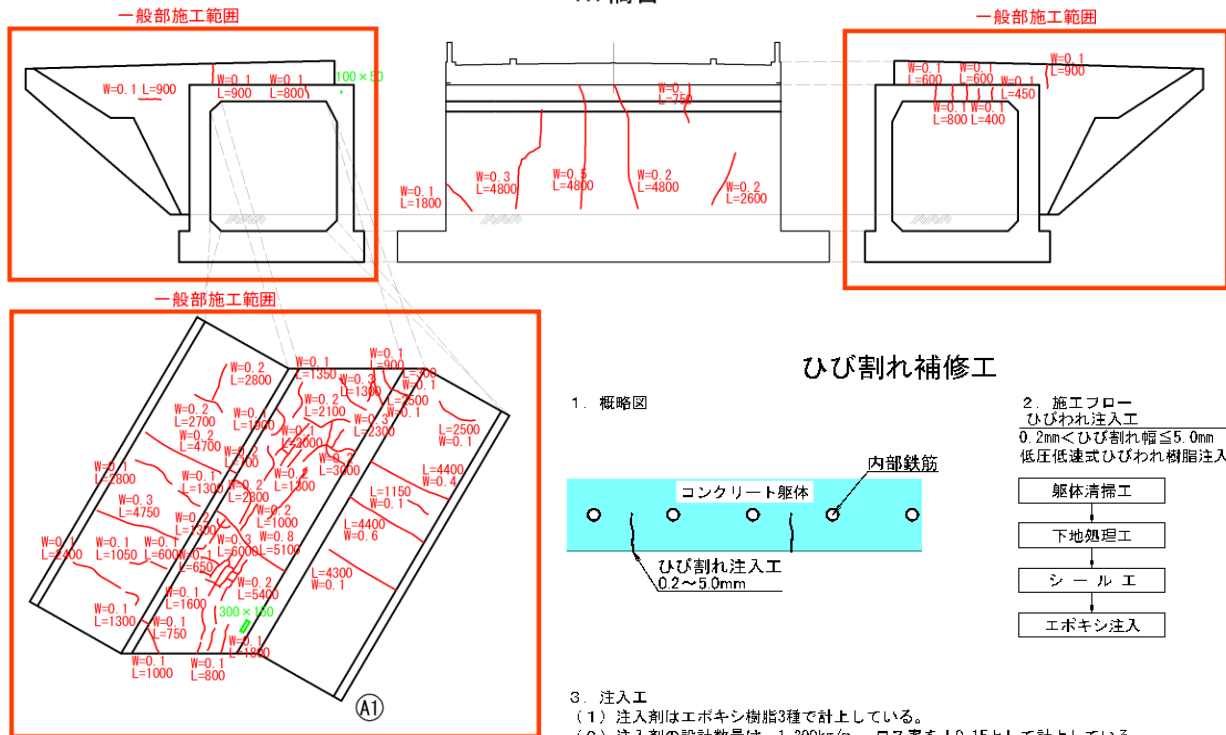
工事名：橋りょう修繕工事（岩井陸橋補修工）

数量総括表										
工事区分 (LEVEL1)	工 種 (LEVEL2)	種 別 (LEVEL3)	細 別 (LEVEL4)	規 格 (LEVEL5)	単位	数値	設計 数量	積算 数量	日数・ 人数等	摘 要
道路修繕	橋梁補修	ひび割れ補修工	ひび割れ補修工	低圧注入	構造物	1	1	1		
		断面修復工	断面修復工	左官工法、鉄筋ケレン・防錆処理を含む	構造物	1	1	1		
		表面処理工	剥落防止工	塗装：厚膜柔軟型ポリウレタン樹脂系塗料	m2	1	66.5	67		
			表面被覆工	CC-B塗装	橋	1	1	1		
			落書防止工	塗装 無機質材：シリコン	m2	10	191.2	190		
		塗替塗装工	投物防止柵塗替え工	無機系塗装材	m2	1	18.1	18		
		伸縮装置更新工	伸縮装置更新工	鋼製荷重支持型	式	1	1	1		
		橋面補修工	舗装版破砕（歩道）	15cm以下	m2	1	96.2	96		
			路面切削（車道）	全面切削 6cmを超え12cm以下	m2	1	167.2	167		
			橋面防水工	塗膜系防水	m2	1	263.4	263		
			アスファルト舗装工（車道）	3m超、改質Ⅱ型（13）	m2	1	167.2	167		
			アスファルト舗装工（歩道）	1.4m以上、再生密粒（13）	m2	1	96.2	96		
			溶融式区画線（白・実線・15cm）		m	1	41.8	42		

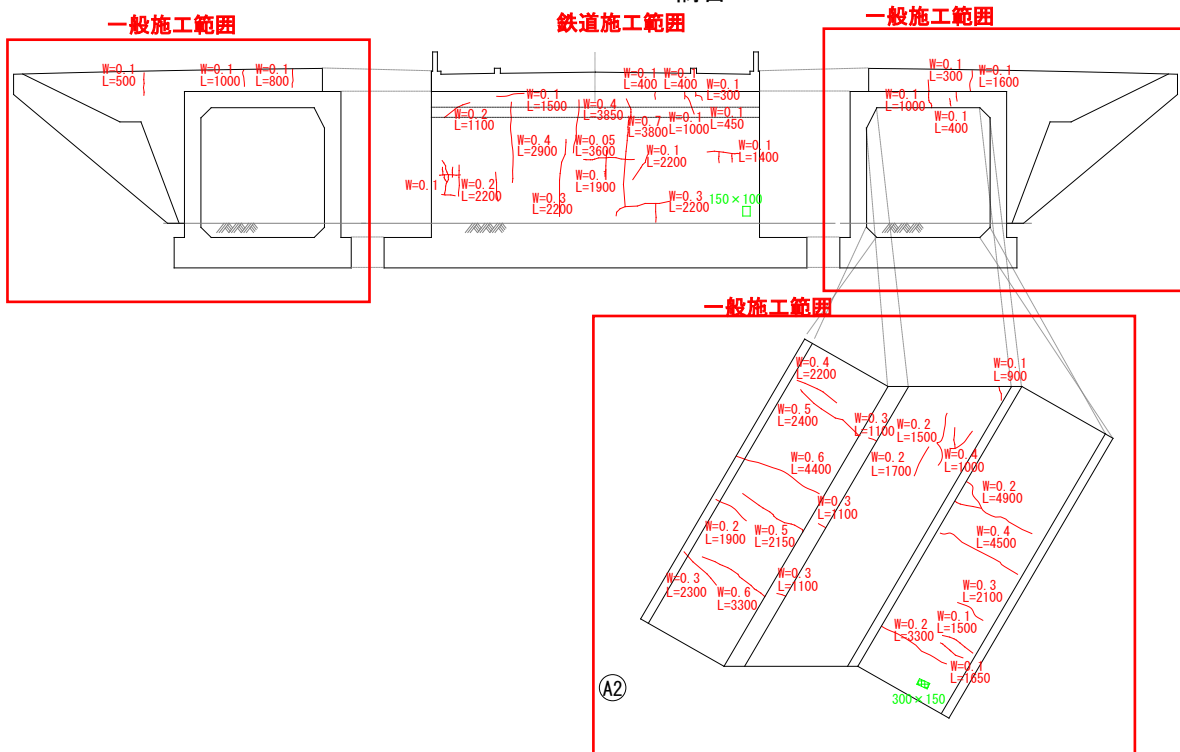
[illegible]

略 図

A1橋台



A2橋台



種 別	算 式										計
ひび割れ補修工（低圧注入工法） ひびわれ深さは、（一社）コンクリートメンテナンス協会の推定式より：ひびわれ幅×200として求める。											
ひびわれ注入工法：昼間施工										=	1 構造物
A1橋台											
ひびわれ幅：0.1mm	0.300	+	0.400	+	0.450	+	0.600	×	3		
ひびわれ深さ：20mm	+	0.650	+	0.750	+	0.800	×	3			
	+	0.900	×	4	+	1.000	+	1.050	+	1.150	
	+	1.300	×	2	+	1.350	+	1.600	+	1.800	
	+	1.900	+	2.000	+	2.400	+	2.500	×	2	
	+	2.800	+	4.300						=	39.300 m
ひびわれ幅：0.2mm	0.700	+	1.000	+	1.300	×	2	+	2.100		
ひびわれ深さ：40mm	+	2.700	+	2.800	×	2	+	3.000	+	4.700	
	+	5.400						=	27.800 m		
ひびわれ幅：0.3mm											
ひびわれ深さ：60mm	1.300	+	2.300	+	4.750	+	6.000			=	14.350 m
ひびわれ幅：0.4mm											
ひびわれ深さ：80mm	4.400						=	4.400 m			
ひびわれ幅：0.6mm											
ひびわれ深さ：120mm	4.400						=	4.400 m			
ひびわれ幅：0.8mm											
ひびわれ深さ：160mm	5.100						=	5.100 m			
	0.1延長	ひび幅	ひび深	0.2延長	ひび幅						
空隙体積	39.300	×	0.0001	×	0.020	+	27.800	×	0.0002		
	ひび深	0.3延長	ひび幅	ひび深	0.4延長						
	×	0.040	+	14.350	×	0.0003	×	0.060	+	4.400	
	ひび幅	ひび深	0.6延長	ひび幅	ひび深						
	×	0.0004	×	0.080	+	4.400	×	0.0006	×	0.120	

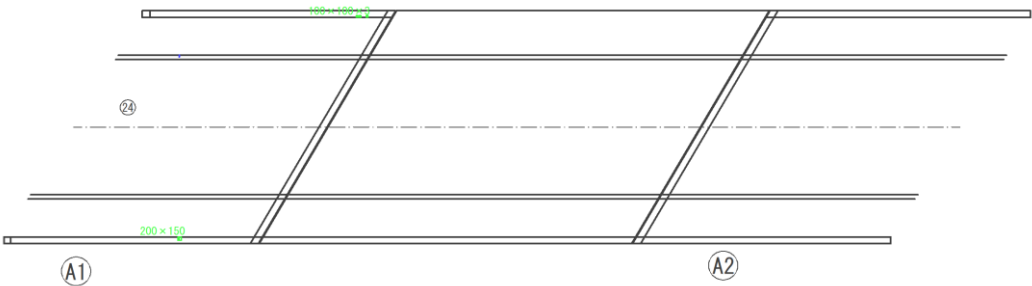
	0.8延長 ひび幅 ひび深	
	$+ \quad 5.100 \quad \times \quad 0.0008 \quad \times \quad 0.160$	$= \quad 0.002 \quad \text{m}^3$
A2橋台		
ひびわれ幅：0.1mm	$0.300 + 0.400 + 0.500 + 0.800 + 0.900$	
ひびわれ深さ：20mm	$+ \quad 1.000 \quad \times \quad 2 \quad + \quad 1.500 \quad + \quad 1.600 \quad + \quad 1.650$	$= \quad 9.650 \quad \text{m}$
ひびわれ幅：0.2mm		
ひびわれ深さ：40mm	$1.500 + 1.700 + 1.900 + 3.300 + 4.900$	$= \quad 13.300 \quad \text{m}$
ひびわれ幅：0.3mm		
ひびわれ深さ：60mm	$1.100 \times 3 + 2.100 + 2.300$	$= \quad 7.700 \quad \text{m}$
ひびわれ幅：0.4mm		
ひびわれ深さ：80mm	$1.000 + 2.200 + 4.500$	$= \quad 7.700 \quad \text{m}$
ひびわれ幅：0.5mm		
ひびわれ深さ：100mm	$2.150 + 2.400$	$= \quad 4.550 \quad \text{m}$
ひびわれ幅：0.6mm		
ひびわれ深さ：120mm	$3.300 + 4.400$	$= \quad 7.700 \quad \text{m}$
	0.1延長 ひび幅 ひび深 0.2延長 ひび幅	
空隙体積	$9.650 \times 0.0001 \times 0.020 + 13.300 \times 0.0002$	
	ひび深 0.3延長 ひび幅 ひび深 0.4延長	
	$\times \quad 0.040 + 7.700 \times 0.0003 \times 0.060 + 7.700$	
	ひび幅 ひび深 0.5延長 ひび幅 ひび深	
	$\times \quad 0.0004 \times 0.080 + 4.550 \times 0.0005 \times 0.100$	
	0.6延長 ひび幅 ひび深	
	$+ \quad 7.700 \times 0.0006 \times 0.120$	$= \quad 0.001 \quad \text{m}^3$
空隙体積合計	$0.002 + 0.001$	$= \quad 0.003 \quad \text{m}^3$
全延長	$39.300 + 27.800 + 14.350 + 4.400 + 4.400$	
	$+ \quad 5.100 + 9.650 + 13.300 + 7.700 + 7.700$	
	$+ \quad 4.550 + 7.700$	$= \quad 146.0 \quad \text{m}$

[illegible]

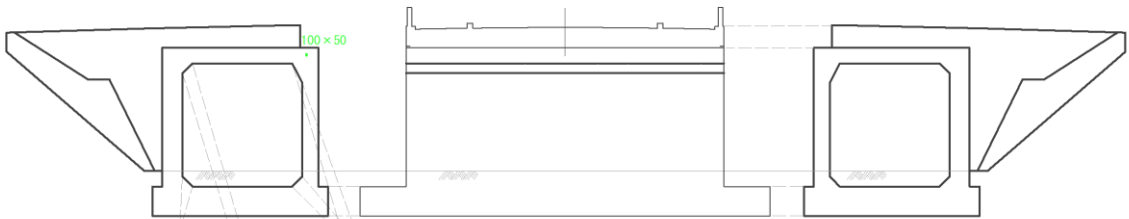
略 図

上部工平面図

上面



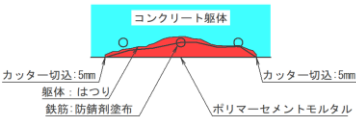
A1橋台



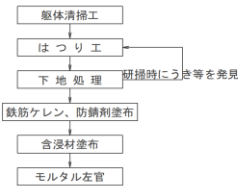
断面修復工

1. 概略図

対象箇所：頂版、側壁



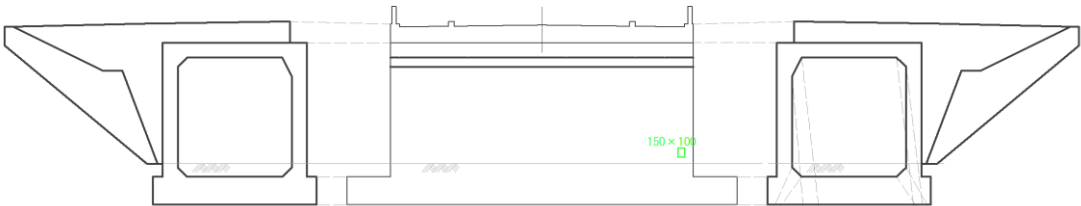
2. 施工フロー



3. 注意事項

- (1) 鉄筋の腐食が進行している場合は、鉄筋背面まではつり、錆落し後に防錆剤塗布のこと。
- (2) モルタルは鉄筋背面まで十分に充てんすること。
また、空隙の発生防止に留意のこと。
- (3) 鉄筋の腐食が軽微で背面まで至っていない場合は、鉄筋背面まではずらずに施工とする。
- (4) 欠損部のはつりは、施工可能な範囲でカッター(5mm程度)を入れ、矩形とする。
- (5) 施工前に損傷の発見に努め、事前に暫定施工数量を監督員に提出のこと。
- (6) 補修材料をポリマーセメントモルタルと記載しているが、経済性・工程も同程度であれば、変更も可能とする。

A2橋台



A2

300x150

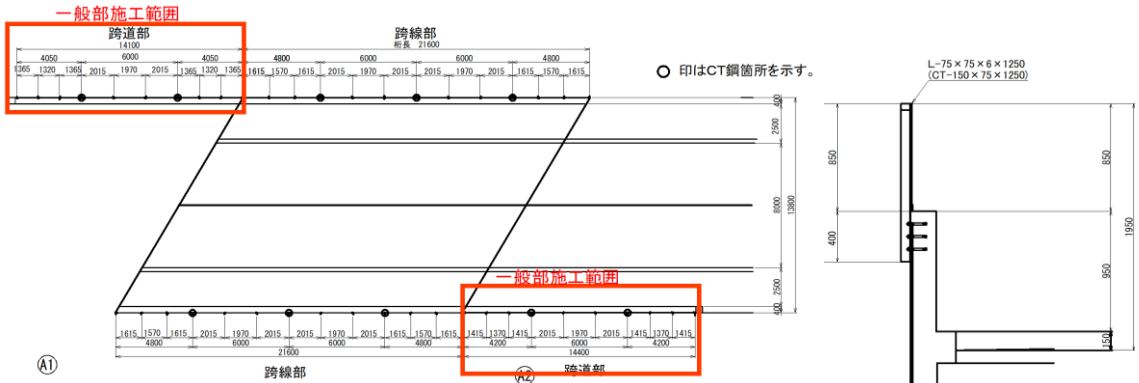
[illegible]

[illegible]

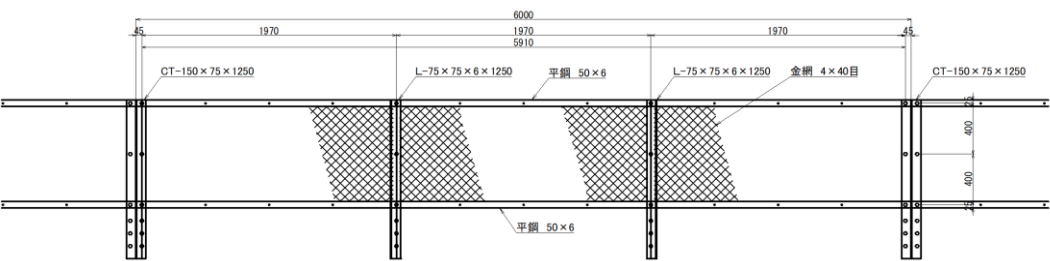
略 図

位置図

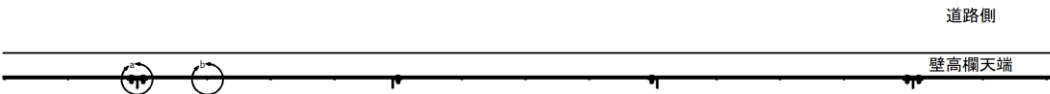
側面図



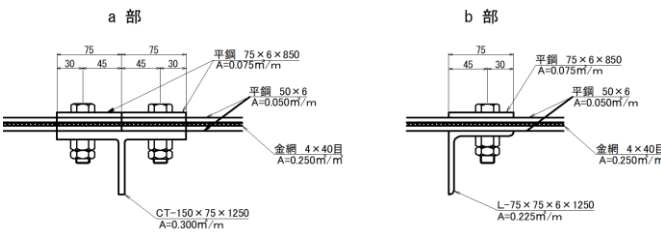
側面図



平面図

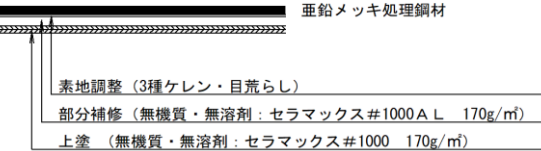


取付詳細図



塗装塗替工

1. 概略図



3. 注意事項

- (1) 投物防止柵支柱・棧・金網・ボルトの塗替えとする。
- (2) 東側投物防止柵は、T V ケーブルを移動した上で塗替えのこと。
- (3) 素地調整は、動力工具・手工具併用とする。
- (4) 鉄道上については時間制限となるため綿密な計画の元に作業を行うこと。
- (5) 施工に当たっては、事前に一般社団法人無機質コーティング協会の講習を受

塗装面積計算表: 跨道部

部材名称	規 格	部 材 数 量 (m)	単位塗装面積 (m ² /m)	塗装面積 (m ²)
C T 鋼	150×75×1250	1.250×4=5.0m	0.3000	1.5
L 形鋼	75×75×1250	1.250×16=20.0m	0.2250	4.5
平鋼	75×850	0.850×20=17.0m	0.0750	1.3
平鋼	b=50	28.500×4=114.0m	0.0500	5.7
金網	4mm×40mm目	28.500-0.075×20=27.0m	0.1875	5.1
		合計		18.1

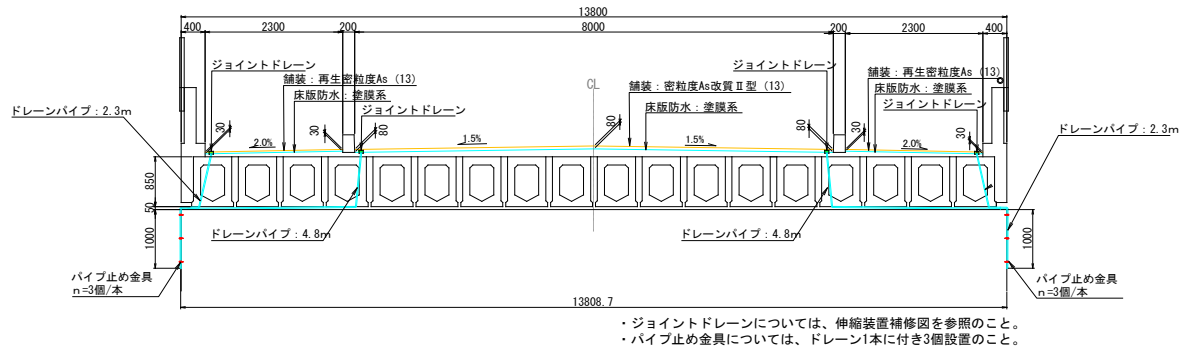
[illegible]

品 名	仕 様 ・ 規 格	単位	A1		A2		合計	備 考
			車道部	歩道部	車道部	歩道部		
伸縮装置 KC-A20	鋼製荷重支持型	m	9.240	—	9.240	—	18.480	*1
伸縮装置 LC-A40 (特)	鋼製荷重支持型	m	—	5.200	—	5.200	10.400	
地覆ジョイント	KC-A20用	箇所	2	—	2	—	4	
地覆ジョイント	LC-A40用	箇所	—	4	—	4	8	
鉄筋 ㊤	D16 SD345	kg	57.66	32.45	57.66	32.45	180.22	
差し筋アンカー	D16 異形鉄筋付	本	184	70	184	70	508	
後打ちコンクリート	$C_{50} = 24.0N/mm^2$	m ³	0.793	0.450	0.793	0.450	2.486	
シール材		ℓ	2.12		2.12		4.24	ロス20%計上
シールプライマー		缶	—		—		1	最小ロット
バックアップ材	軟質ウレタンフォーム	ℓ	2.92		2.92		5.84	
ジョイントドレーン		箇所	2	2	2	2	8	
ジョイントドレーン流末管		m	4.8	2.3	4.8	2.3	14.2	
パイプ止め金具		個	3	3	3	3	12	

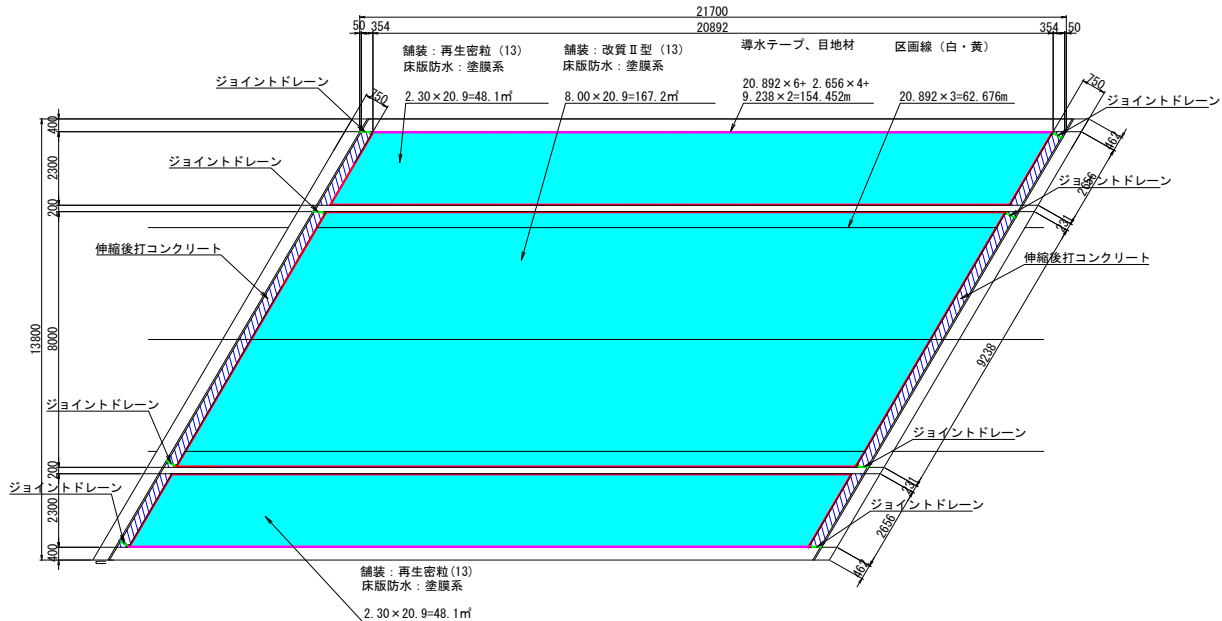
岩井陸橋 伸縮装置更新工		数 量 計 算 書			
種 別	算 式				計
伸縮装置更新工					1 式
伸縮装置本体(鋼製荷重支持型、KC-A20):車道部	9.240	×	2	= 18.5	m
伸縮装置本体(鋼製荷重支持型、LC-A40(特)):歩道部	2.600	×	4	= 10.4	m
地覆ジョイント(KC-A20用)	2	+	2	= 4	箇所
地覆ジョイント(LC-A40用)	4	+	4	= 8	箇所
シール材	2.12	+	2.12	= 4.24	ℓ
バックアップ材	2.92	+	2.92	= 5.84	ℓ
ジョイントドレーン	2	+	2 + 2 + 2	= 8	箇所
ジョイントドレーン	L=4800	(車道部)		= 4	基
ジョイントドレーン	L=2300	(歩道部)		= 4	基
パイプ止め金具	3	×	4	= 12	個

略 図

上部工断面図

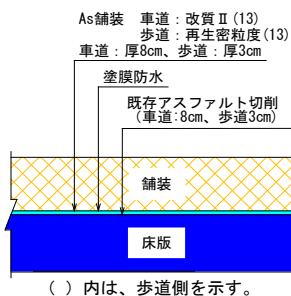


平面図(上面) S=1:100

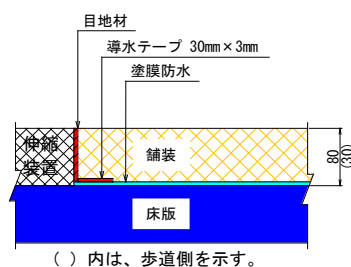


舗装組成図 S=1:6

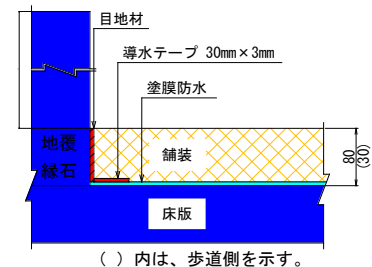
標準部



伸縮装置部



地覆・縁石部



- ※1. 既存アスファルト舗装切削は、全厚(車道8cm、歩道3cm)程度とする。
※2. 既存舗装切削後は、ウォータージェット等で平滑に仕上げること。
※3. 施工性から塗膜防水を採用しているが、舗装厚が8cm(3cm)程度であり膜厚に留意のこと。
歩道側は、均しコンクリート擦付けの関係から、平面図に示した均しC○厚t=30ラインにおいて段差に留意のこと。
※4. 防水工の端部及びジョイントドレーン付近は目地材等の施工を急入に行うこと。

橋面補修工		数 量 計 算 書			
種 別	算 式				計
舗装面補修工(橋面、As舗装、床版防水、区画線)	=				1 式
舗装版破碎 (歩道)	図面より	48.1	+	48.1	= 96.2 m ³
路面切削 (車道)	図面より	167.2			= 167.2 m ²
橋面防水工(補修 塗膜系防水)	48.1	+	48.1	+	167.2 = 263.4 m ²
成型目地材	図面より (30mm×5mm)	154.452	=	154.5	m
	154.5	÷	263.4	×	100 = 58.7 m (100mあたり)
床版排水材 (導水テープ)	図面より (30mm×5mm)	154.452	=	154.5	m
	154.5	÷	263.4	×	100 = 58.7 m (100mあたり)
アスファルト舗装工(車道)					
橋面	図面より	167.2	=		167.2 m ²
アスファルト舗装工(歩道)					
橋面	図面より	48.1	+	48.1	= 96.2 m ²
溶融式区画線					
白・実線・15cm	外側線	20.89	×	2本	= 41.8 m
黄・実線・15cm	中央線	20.89	×	1本	= 20.9 m
	面積			舗装厚	
アスファルト殻 (破碎)	(100m ² あたり)	100.0	×	0.030	= 3.0 m ³
		3.0	×	2.20 (t/m ³)	= 6.600 t
アスファルト殻 (切削)	(100m ² あたり)	100.0	×	0.080	= 8.0 m ³
		8.0	×	2.35 (t/m ³)	= 18.800 t

[illegible]

[illegible]

岩井陸橋 仮設工		数量計算書																																																	
略 図																																																			
側面図(東毛呂)																																																			
平面図(上面)																																																			
上部工断面図		橋梁諸元																																																	
		<table><tr><td>上部工</td><td colspan="3">単純プレテンションPCホロー桁床版橋 (18主桁)</td></tr><tr><td>設計荷重</td><td colspan="3">B活荷重</td></tr><tr><td>下部工</td><td colspan="3">ラーメン式橋台 (内空6.0M×6.26M)</td></tr><tr><td>橋 長</td><td>21.7m</td><td>斜角</td><td>左60°</td></tr><tr><td>幅 員</td><td colspan="3">13.8m (0.4+2.5+4.0+4.0+2.4+0.4)</td></tr><tr><td>勾 配</td><td colspan="3">縦断 6.0% : 6.0%、横断 1.5% : 1.5%</td></tr><tr><td>完成年</td><td colspan="3">2003年 (平成15年) 経過20年</td></tr><tr><td>適用示方書</td><td colspan="3">道示1996 (平8)</td></tr><tr><td>支 承</td><td colspan="3">ゴム支承 (タイプa)</td></tr><tr><td>舗 装</td><td colspan="3">アスファルト舗装</td></tr><tr><td>高 欄</td><td colspan="3">コンクリート防護柵</td></tr><tr><td>橋 下</td><td colspan="3">東武鉄道越生線</td></tr></table>		上部工	単純プレテンションPCホロー桁床版橋 (18主桁)			設計荷重	B活荷重			下部工	ラーメン式橋台 (内空6.0M×6.26M)			橋 長	21.7m	斜角	左60°	幅 員	13.8m (0.4+2.5+4.0+4.0+2.4+0.4)			勾 配	縦断 6.0% : 6.0%、横断 1.5% : 1.5%			完成年	2003年 (平成15年) 経過20年			適用示方書	道示1996 (平8)			支 承	ゴム支承 (タイプa)			舗 装	アスファルト舗装			高 欄	コンクリート防護柵			橋 下	東武鉄道越生線		
上部工	単純プレテンションPCホロー桁床版橋 (18主桁)																																																		
設計荷重	B活荷重																																																		
下部工	ラーメン式橋台 (内空6.0M×6.26M)																																																		
橋 長	21.7m	斜角	左60°																																																
幅 員	13.8m (0.4+2.5+4.0+4.0+2.4+0.4)																																																		
勾 配	縦断 6.0% : 6.0%、横断 1.5% : 1.5%																																																		
完成年	2003年 (平成15年) 経過20年																																																		
適用示方書	道示1996 (平8)																																																		
支 承	ゴム支承 (タイプa)																																																		
舗 装	アスファルト舗装																																																		
高 欄	コンクリート防護柵																																																		
橋 下	東武鉄道越生線																																																		
種 別	算 式			計																																															
高所作業車				1 式																																															
高所作業車	トラック式ブーム型 作業床高さ9.7m 1日あたり																																																		
運転手 (一般)	運転手 (一般) 1日あたり 1 人																																																		
軽油	1日あたりの運転時間T 500 ÷ 100 = 5.0 時間																																																		
	1時間あたり、3.6L 1日あたり、5時間運転 3.6 × 5.0 = 18.0 L																																																		